令和元年度　第１回脊振町公共交通検討会議　次第

日時：令和元年５月２０日（月）19 時 00 分～
場所：脊振公民館　大会議室

１　開　会

２　あいさつ

３　議　事
（1）脊振町公共交通検討会議規約（案）について

（2）会長及び副会長の選任について

（3）昭和自動車株式会社からの再編申入れについて

４　その他

５　閉　会

脊振町公共交通検討会議規約（案）

（設置目的）

第１条　脊振町の公共交通に地域住民が主体的に関わるような仕組みを構築し、利用者のニーズや地域の特性にあった交通手段へ改善を図り、持続可能なものとするために脊振町公共交通検討会議（以下「会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　会議は、次に掲げる事項について協議するものとする。

(1) 地域の実情に応じた交通手段並びに運賃及び料金等に関すること。

(2) 地域の公共交通の利用促進等に関すること。

(3) 前２号に掲げるもののほか、地域の公共交通に関し必要と認める事項

（構成）

第３条　会議の委員は、別表に掲げる者をもって組織する。

（会長及び副会長）

第４条　会議に会長及び副会長を置く。

２　会長は、委員の互選により定め、副会長は、委員の中から会長が指名する。

３　会長は、会議を代表し、会務を総括する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（議事）

第５条　会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

２　会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は助言を求めることができる。

（事務局）

第６条　会議の事務局は、神埼市脊振支所総合窓口課に置く。

（その他）

第７条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は会議において定める。

附　則

この規約は、令和　　年　　月　　日から施行する。

脊振町公共交通検討会議　委員名簿

（R1．5　現在）

番号	団体名	委員氏名	備　考
1	脊振町区長会	牟田喜通	広滝東
2	脊振町区長会	志波一弘	広滝西
3	脊振町区長会	山﨑直樹	広滝下
4	脊振町区長会	鶴田良治	岩政倉今(岩屋)
5	脊振町区長会	八谷好弘	一番ヶ瀬(上)
6	脊振町区長会	大澤良次	頭服(頭野)
7	脊振町区長会	山本立身	久保山(一谷)
8	脊振町区長会	髙島敏弘	鹿路(大楮)
9	脊振町区長会	坂井和美	鳥羽院(上)
10	老人クラブ連合会脊振支部	廣瀧恒明	広滝東
11	老人クラブ連合会脊振支部	倉谷勝英	岩政倉今(倉谷)
12	老人クラブ連合会脊振支部	梅﨑伸子	岩政倉今(政所)
13	婦人会脊振支部	花田かつえ	広滝下
14	婦人会脊振支部	本村和子	広滝西
15	婦人会脊振支部	一番ヶ瀬妙子	久保山(田中)
16	脊振育友会	音成栄志	一番ヶ瀬(下)
17	脊振育友会	田中靖浩	久保山(田中)
18	脊振育友会	合田エイ子	久保山(竜作)
19	脊振町自治公民館長	森﨑博幸	岩政倉今(倉谷)
20	脊振町自治公民館長	音成孝弘	一番ヶ瀬(下)
21	脊振町自治公民館長	花田健兒	広滝下
22	脊振町民生委員･児童委員協議会	芦原宏海	広滝下
23	脊振町民生委員･児童委員協議会	森﨑三善	岩政倉今(倉谷)
24	脊振町民生委員･児童委員協議会	内村由利子	広滝西

（団体等）

区長会	9 人
老人クラブ連合会脊振支部	3 人
婦人会脊振支部	3 人
脊振育友会	3 人
脊振町自治公民館長	3 人
脊振町民生委員･児童委員協議会	3 人
計	24 人

■　オブザーバー　　佐賀県さが創生推進課　石崎伸二

■　事務局　　脊振支所　総合窓口課

総務企画部　企画課

資料1

第1回脊振町公共交通検討会議資料

令和元年5月20日

１ 昭和自動車㈱からの再編申入れについて

〇バス利用者の減少、バス運転士の高齢化、働き方改革によるバス運転士の不足を理由に県内26路線を再編

〇神埼市内では、県道三瀬・神埼線を経由して佐賀駅バスセンターと佐賀市三瀬の間を運行する4路線、脊振町内を運行する脊振町通学バス5路線が再編の対象。

２　三瀬･神埼線の再編に係るこれまでの経緯

日時	事柄
平成30年9月27日	昭和自動車株式会社からの協議申し入れ
平成30年10月～	昭和バスとの協議（佐賀県、佐賀市、神埼市）
平成30年12月	三瀬･神埼線乗降調査･とりまとめ
平成31年1月25日	脊振町区長会において報告
平成31年2月12日	佐賀県地域活性化協議会地域部会において公表
平成31年2月21日	脊振町臨時区長会において佐賀県地域部会の内容等を報告
平成31年3月5日	神埼市から昭和自動車株式会社へ要望 （運行の継続及び路線毎の再編実施時期について、柔軟な対応を要望）
平成31年3月28日	神埼市地域公共交通活性化協議会において報告

３　昭和バス三瀬･神埼線の運行ルート･便数

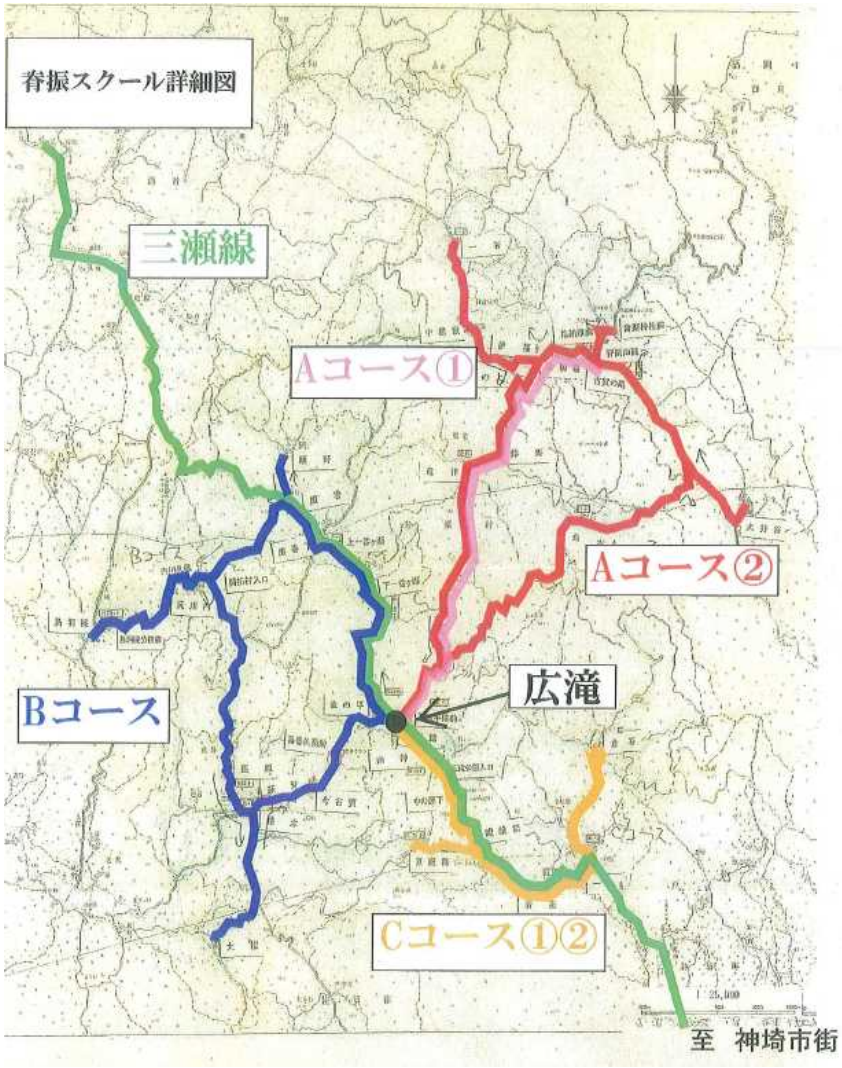
路線	ルート	キロ程	平日	土曜	日祝
①	三瀬車庫前～佐賀駅BC	31.2km	6便	2便	2便
	三瀬車庫前～三瀬温泉～佐賀駅BC	31.8km	4便	4便	4便
	三瀬宿～佐賀駅BC	34.0km	2便	2便	2便
②	三瀬車庫前～神埼駅前	19.5km	1便	－	－
③	広滝～佐賀駅BC	21.6km	2便	3便	－
④	神埼駅前～広滝	9.9km	1便	－	－

○平日16便、土曜11便、日祝8便のバスが運行中。

○時間帯によって神埼駅どまりの便、広滝発着の便などがあるが、三瀬車庫～佐賀駅バスセンターの本数が一番多い。

○佐賀駅バスセンター～神埼市役所間は、西鉄バス「神埼線(佐賀駅BC～西鉄久留米)」と重複している。

４　脊振町通学バスの運行ルート･便数



路線	ルート	平日	土曜
Aコース① 脊振山麓線	脊振山麓～広滝	1便	―
Aコース② 脊振山麓線	広滝～白木～犬井谷～一谷～広滝	5便	3便
Bコース 鳥羽院線	広滝～頭野～鳥羽院～大椿～広滝	5便	3便
Cコース① 倉谷線	倉谷～岩屋～東鹿路～広滝	2便	1便
Cコース② 倉谷線	広滝～東鹿路～岩屋～倉谷～広滝	3便	2便

○運賃は一般100円、脊振町内の保育園児、小学生、中学生は定期券が利用可能で平成31年度は30名程度が定期券を利用して通園、通学している。

５　乗降調査の概要について

【三瀬・神埼線】

〇平成30年12月10日～14日に、佐賀県、神埼市、佐賀市の職員で実際にバスに乗り込みながら、乗降場所、利用頻度、利用目的、バス以外の代替手段について調査を実施した。

〇調査対象は平日の全便で、それぞれの便に2回ずつ乗って調査を実施。

〇また、昭和バスにおいても、平日及び土日祝において、定期的な調査（H30.6）と臨時の調査(H31.1)を実施。

【脊振町通学バス】

〇平成31年2月15日、19日（平日）に佐賀県、神埼市の職員で実際にバスに乗り込みながら調査を実施した。

〇土曜日についても昭和バスにより2月16日に調査を実施

6-1　乗降調査の結果について（平日上り）

三瀬・神埼線平日上り（佐賀駅方面）

発車時刻	市・県調査人数																			
	1日目										2日目									
	三瀬地区		内訳	脊振～横武	内訳	大町橋～境橋	内訳	堀立～佐賀BC	内訳	計	三瀬地区		内訳	脊振～横武	内訳	大町橋～境橋	内訳	堀立～佐賀BC	内訳	計
三瀬車庫 6:15	乗			8	三養基2・致遠館1・佐賀北3・佐賀西1・大和特別1					8	乗			8	三養基2・致遠館2・佐賀北2・佐賀西1・三田川中1					8
	降			8							降			8						
三瀬車庫 6:35	乗	1	神埼1	11	三養基1・神埼1・清明1・佐賀北3・佐賀工2・清和1・北陵1・神埼中1			1	通勤1	13	乗	1	神埼1	15	三養基2・神埼1・佐賀工2・清明1・清和1・北陵1・佐大1・神埼中1・附属小4・買物1	1	通勤1	1	附属小1	18
	降			5				8			降			6				12		
三瀬宿 7:15	乗	2	龍谷2	9	清明5・佐賀女子1・専門学校1・通勤1・通院1					11	乗	2	清明1・龍谷1	8	清明4・三養基1・佐大1・通勤1・通院1			4	通勤3・通院1	14
	降			8				3			降			7				7		
広滝 9:00	乗			5	通院3・買物1・所用1	1	通院1	1	通院1	7	乗			1	所用1			1	所用1	2
	降			4				3			降			1				1		
三瀬車庫 9:35	乗			3	通勤1・通院1・買物1	1	買物1	1	所用1	5	乗			6	通勤2・通院1・買物2・所用1			2	通勤2	8
	降			1				4			降			4				4		
三瀬車庫 12:15	乗			4	専門学校1・通院3	1	所用1	1	所用1	6	乗	1	買物1	4	所用4					5
	降							6			降			4				1		
三瀬車庫 15:45	乗							4	所用4	4	乗	1	所用1	2	脊振小1・通勤1			2	買物2	5
	降							4			降			2				3		
三瀬車庫 17:15	乗			3	脊振中1・通勤2	1	通勤1			4	乗			3	脊振中1・神埼1・西九大1・	1	通勤1	1	買物1	5
	降			1				3			降			2				3		
									合計	58									合計	65

6-2　乗降調査の結果について（平日下り）

三瀬・神埼線平日下り（三瀬方面）

発車時刻	市・県調査人数																			
	1日目										2日目									
		佐賀BC～堀立	内訳	境橋～大町橋	内訳	横武～脊振	内訳	三瀬地区	内訳	計		佐賀BC～堀立	内訳	境橋～大町橋	内訳	横武～脊振	内訳	三瀬地区	内訳	計
神埼駅 7:10	乗					3	脊振中1・脊振小1・通勤1			3	乗					1	脊振中1			1
	降					3					降					1				
佐賀BC 9:55	乗									0	乗	1	買物1			2	買物1・所用1			3
	降										降					2		1		
佐賀BC 11:30	乗					1	通院1			1	乗	1	通院1			1	買物1			2
	降					1					降	1				1				
佐賀BC 13:30	乗	2	買物1・所用1			1	買物1			3	乗	5	通勤2・買物3							5
	降					2		1			降	2		1		2				
佐賀BC 15:50	乗	2	通勤1・所用1			3	清明2・所用1			5	乗	2	佐賀女子1・通院1	1	所用1	2	清明1・所用1			5
	降	2				3					降					5				
佐賀BC 16:50	乗	13	佐賀北1・龍谷1・佐大1・附属小2・通勤2・買物2・通院2・所用2	1	所用1	4	清明1・神埼中1・大和特別1・付き添い1			18	乗	7	佐賀西1・附属小1・通勤4・買物1			2	清明1・神埼中1			9
	降	2		1		12		3			降			3		6				
佐賀BC 18:00	乗	7	佐賀北2・佐賀工2・九州国際高等学園1・佐賀大1・通勤1			4	三養基1・神埼1・清明1・通院1			11	乗	1	佐大1			3	三養基2・清明1			4
	降					8		3			降					3		1		
佐賀BC 19:25	乗	2	致遠館1・清和1			6	三養基1・神埼1・佐賀西1・佐賀商1・通勤1・所用1			8	乗	5	致遠館2・北陵1・龍谷1・専門学校1			1	清明1			6
	降					8					降					5		1		
									合計	49									合計	35

6-3　乗降調査の結果について（土日祝）

土日祝上り（佐賀駅BC行き）

起点	発車時刻	経由	終点	到着時刻	昭和調査				平均
					6月土曜	6月日曜	1月土曜	1月日曜	
三瀬宿	6:45	ー	佐賀駅BC	7:59	14	4	5	2	6.3
三瀬車庫	9:35	ー	佐賀駅BC	10:42	3	6	3	1	3.3
三瀬車庫	12:15	三瀬温泉	佐賀駅BC	13:24	7	2	6	3	4.5
三瀬車庫	15:45	三瀬温泉	佐賀駅BC	16:54	1	7	2	3	3.3

土日祝下り（三瀬方面行き）

起点	発車時刻	経由	終点	到着時刻	昭和調査				平均
					6月土曜	6月日曜	1月土曜	1月日曜	
佐賀駅BC	10:05	三瀬温泉	三瀬車庫	11:14	4	6	3	0	3.3
佐賀駅BC	13:30	三瀬温泉	三瀬車庫	14:39	12	4	6	2	6
佐賀駅BC	16:50	ー	三瀬宿	18:04	8	6	4	3	5.3
佐賀駅BC	18:00	ー	三瀬車庫	19:07	4	5	2	4	3.8

6-4　乗降調査の結果について（脊振町通学バス）

脊振山麓線

（平日）

広滝発	利用者数 2/15（金）	利用者数 2/19（火）
0617（脊振山麓発	2	2
0650	10（定期8）	10（定期8）
0810	0	2
1230	0	0
1620	6（定期6）	4（定期4）
1820	2	3

（土曜）

広滝発	利用者数 2/16（土）
0740	2
1230	0
1620	2（定期2）

鳥羽院線

（平日）

広滝発	利用者数 2/15（金）	利用者数 2/19（火）
0650	9（定期6）	8（定期5）
0810	2	0
1230	0	0
1620	5（定期5）	7（定期7）
1820	3	2

（土曜）

広滝発	利用者数 2/16（土）
0715	2
1230	0
1620	2

倉谷線

（平日）

広滝発	利用者数 2/15（金）	利用者数 2/19（火）
0737（倉谷発）	5（定期5）	6（定期5）
0837（倉谷発）	0	0
1330	0	0
1703	2（定期2）	5（定期5）
1820	1	1

（土曜）

広滝発	利用者数 2/16（土）
0810（倉谷発）	2（定期）
1330	0
1703	0

6-5　乗降調査の結果について

【三瀬・神埼線】

〇朝と夕方～夜は、脊振地域から佐賀市内や神埼市内、みやき町の高校に通う高校生の利用が中心。(神埼市の小中学生も利用)

〇日中は、年代を問わず通勤、買い物、通院に利用されていた。

【脊振町通学バス】

〇朝と夕方は保育園児、小・中学生の通学での利用が中心。

〇日中は、買い物、通院等の利用もされているが、利用者がいない便も複数確認された。

7　再編の方向性について

乗降調査結果	三瀬･神埼線路線バス、脊振町通学バスについて、どちらも朝、夕方～夜の通学利用が大部分を占めている。

通学のための移動手段確保の必要性は非常に高い

方向性	移動手段の問題により、通学や将来の進学先等についての選択肢が限られることが無いよう、確保維持していくことを目指すとともに、地域住民、利用者及び関係者の協議、意見交換等により持続可能な地域の公共交通体系の確立を図る。